

日野市観光協会だより

第41号（令和6年7月発行）

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



四季を感じる高幡不動尊

高幡不動尊金剛寺

高幡不動尊は、『日本一のお不動さん』と呼ばれている平安時代の丈六不動三尊像を本尊とし、不動信仰の霊場として大勢の檀信徒の方々から信仰を集めてきました。当山は千年以上の歴史がある真言宗の古刹で、平安時代に清和天皇の勅願により、慈覚大師円仁が境内の山中に不動明王をお祀りし、中世の頃は武将たちの戦勝祈願の寺として知られております。江戸時代には関東十一檀林の学問所として名を馳せ、今日では厄除け、交通安全の本山として、毎日護摩祈祷を奉修しています。境内は東京都で一番古い建造物である重要文化財の不動堂をはじめ、仁王門、大日堂、五重塔、奥殿などの堂宇が並び、多摩丘陵からなる境内の山には、都心では見られない鳥や昆虫たちが集い、桜、アジサイ、曼珠沙華、モミジなど多くの花木が私たちを癒してくれます。アジサイは、戦時中

に荒廃した山に自生していたアジサイをきっかけに、近隣やご信者の方々からの奉納などにより、現在では200種以上、7800株以上までに数が増え、6月には『あじさいまつり』が開催され、東日本のアジサイの名所として知られるようになりました。秋には『菊まつり』『もみじまつり』など錦秋の境内を彩る行事もあり、四季折々の自然を楽しむお寺であります。加えて、重要文化財など寺宝を数多く所蔵しており、奥殿には不動明王像内文書、勸進状などの貴重な古文書や鰐口などが展示してあり、大日堂の堂内には手を叩けば妙音が聞こえる鳴り龍などがあり、歴史や文化を感じていただけるお寺でもあります。最近では、新選組ゆかりのお寺、土方歳三の菩提寺として、新選組ファンのお参りも増えました。境内には歳三の銅像が立ち、5月には『新選組まつり』もあり、新選組の聖地の一角を担っています。それ以外にも、一年を通していろいろな行事を行っていますので、ご参拝を心よりお待ちしております。

令和6年度定期総会を開催

6月12日(水)



高幡不動尊信徒会館に於いて、日野市観光協会の総会を開催しました。正会員155名のうち出席者124名(うち書面表決38名 委任状34名)、来賓の方々をお招きし、各部会を中心に事業報告・決算報告並びに事業計画(案)・予算計画(案)が提案され、全会一致で可決承認となりました。

その後懇親会を開催し、総会に引き続き来賓の方々、多くの会員に参加をいただきました。少し短めではありましたが交流ができました。来年以降は信徒会館の建て替えがありますので、会場選定を頭に入れて計画を進めます。

(総務部長 滝瀬仁久)

第27回 ひの新選組まつり

5月11日(土)
12日(日)

晴天の下大きな事故もなく開催でき、皆様に感謝申し上げます。今年は以前と比べて変更・改善した点がいくつかあります。一つ目はコンテストの屋外開催です。心配されていたステージの狭さ、暑さ対策等も杞憂に終わり、新緑の高幡山、五重塔そして晴天を背景に最高のロケーションでした。雨の問題は常にありますが、将来的には五重塔から境内、そして商店街へと繋がる大きなイベントにできるような期待が持てました。二つ目は数年来切望していたパレードの秒単位での時間管理です。運行表を作成し、動画の定点撮影で記録も残せたので更に精度を上げて臨むことが出来るようになりました。各隊の随行者と銃撃戦の責任者に無線が配置され、パレードの動きを微調整することも出来ました。来年にはマニュアルと呼べるレベルにしたいと考えています。今後はどうすれば日野市民のまつりとして定着していくかを一番に考えながら、更に魅力的なパレードにしていきたいと思っています。(実行委員会パレード部会長 西明靖陽)



来場者数 1日目(高幡不動) 1万人 2日目(日野宿) 3万5千人

第40回高幡不動尊あじさいまつり

6月1日(土)~30日(日)

高幡不動尊あじさいまつりが開催され、今年も大勢の方がお参りに来られました。5月下旬からヤマアジサイが咲き始め、その後ガクアジサイ、西洋アジサイなどが咲き、6月中旬頃に見頃を迎えました。期間中は恒例の俳句大会、少年柔剣道大会、写真コンクールなどが開催され、また境内の山では山内八十八ヶ所クイズが行われ、参拝者は弘法大師の石像傍らに掲示されている問題を解きながら巡礼コースを散策されました。(高幡不動尊)



第57回 伸びゆく日野市写真コンクール

応募期間 令和5年12月12日(火)～令和6年1月12日(金)

伸びゆく日野市写真コンクールが本年も開催され、84名の方から527点の応募がありました。審査は2月16日(金)に実施され、推薦、特薦、協賛企業等による特別賞(13賞)を含む23賞の受賞作品を決定しました。表彰式は3月7日(木)に実施され、受賞者の皆様の作品に対する想いを語っていただきました。入賞作品は3月12日(火)から3月25日(月)まで日野市役所1階に展示され、多くの皆様が足を止め、作品を鑑賞されていました。

今回の写真コンクールについて審査長からは、魅力ある日野の姿を広く写真で記録し紹介する写真コンクールの趣旨に触れ、変わりゆく日野市の姿の様々な表情を捉えた作品の増加に評価をいただき、またコロナ禍を契機として始めた今回で3回目となるデータ応募の浸透にも触れていただきました。

データ応募受付を始めたことにより、応募作品数の倍増だけではなく、今回初めて小学生が特別賞を受賞するなど、コンクール自体も応募者の年齢幅が広がり、多くの皆様に浸透していると感じました。2年後には60回目の節目を迎えます。より多くの皆様に日野市の魅力を知って戴きますよう、今後も魅力的な写真コンクールを続けていきたいと思っております。審査、表彰式を含めまして御協力いただきました皆様に改めまして御礼申し上げます。
(事業部長 亀山孝一)



全入賞作品は、こちらから



推薦(日野市長賞)
「華やかに」 橋本 昌利さん



特選(日野市議会議長賞)
「親子の競演」 内山 義之さん



特選(日野市観光協会理事長賞)
「朝焼けの中」 中原 輝男さん

多摩動物公園のライオンバスが60周年！



多摩動物公園といえば、ライオンバス。広い放飼場でのびのびと暮らすライオンの群れの中にバスで近づくと、目の前に迫力のライオンが！何度乗っても飽きません。実は、人がバスに乗ってライオンに近づく「サファリ形式」の展示は多摩動物公園が世界で初めて！！60年前の1964年5月に運行を開始しました。現在のバスは、2013年から運用される5代目。2021年7月には、バスステーションと放飼場を全面改修しました。「そういえば、昔乗ったなあ」という方も、初めてという方も、ぜひご乗車してみてください。（多摩動物公園）

これからの行事予定

10月5日(土)	第21回ひのよさこい祭
10月(予定)	会員研修旅行
10月26日(土)～11月17日(日)	第53回高幡不動尊菊まつり
10月27日(日)	第18回平山季重まつり
11月9日(土)・10日(日)	第58回日野市産業まつり
11月22日(金)・23日(土)	第16回たかはたもみじ灯路

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。(会員価格 サイド月額 2,500円) ぜひご検討ください。

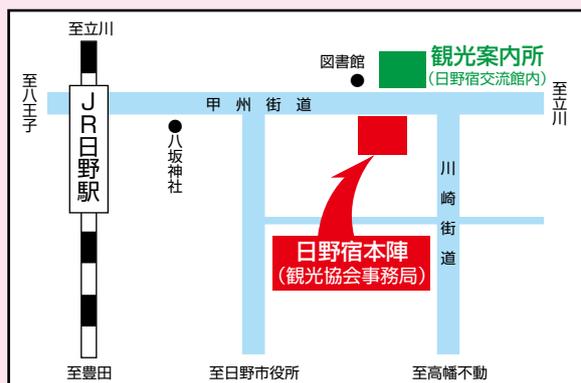
特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM(月曜定休)

〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9

TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961

E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

ひの新選組まつりは、昨年と打って変わって快晴となり多くの人で賑わっておりました。また、昨年はコロナが5類感染症に移行し間もないこともあり、マスク姿の方も多かったのですが、今年はマスクをしている人もほとんど見かけず、ようやく平常時に戻ったような感じでした。「伸びゆく日野市写真コンクール」では、どの作品も素晴らしいものばかりで、改めて日野市の魅力を再認識しました。最後に、観光協会だよりは、今年度は本号含め3回発行いたします。引き続き行事やイベント等について取り上げていきたいと思っております。(G)